

平成28年度 東京大学理学系研究科天文学専攻 修士論文発表会プログラム

2月2日 (木) 9:30-12:00

於：化学本館講堂

順番	発表時間	学生証番号	氏名	タイトル
1	9:30-10:00	156116	池内 綾人	Dust Properties of Hickson Compact Groups Revealed by AKARI, Spitzer and Herschel Observations (あかり、スピッツァー、ハーシェル宇宙望遠鏡の観測に基づくヒクソン・コンパクト銀河群のダストの性質)
2	10:00-10:30	156117	石川 聡一	銀河系中心領域のALMAによる観測：SgrA*とミニスパイラルのサブミリ波スペクトル
3	10:30-11:00	156131	向江 志朗	Connection between Galaxy and Inter-Galactic Medium at $z \sim 2-3$ Studied by Optical and Near-Infrared Observations (可視・近赤外線探査に基づく赤方偏移2-3の銀河-銀河間物質関係の研究)
4	11:00-11:30	156118	石塚 将斗	Fiber mode scrambler experiments for the Subaru Infrared Doppler Instrument (IRD) (すばる望遠鏡用ドップラー法赤外線分光器IRDのためのファイバーモードスクランブラー試験)
5	11:30-12:00	156119	岡村 拓	Angular momentum evolution of stellar discs at high redshifts (高赤方偏移における銀河ディスクの角運動量進化)

2月2日 (木) 13:00-15:00

順番	発表時間	学生証番号	氏名	タイトル
6	13:00-13:30	156120	楠 絵莉子	セイファート銀河が示す広帯域X線スペクトル変動の統一的な解釈
7	13:30-14:00	156122	酒井 伊織	α 線を用いたNano-JASMINE搭載用CCDの放射線耐性実験
8	14:00-14:30	156123	佐々木 宏和	Collective neutrino flavor oscillations and application to supernova nucleosynthesis (ニュートリノ集団振動と超新星における元素合成への応用)
9	14:30-15:00	156125	谷口 由貴	Optical Variability Timescale of Low-mass Black Holes in Active Galactic Nuclei (活動銀河核における低質量ブラックホールの可視光度変動タイムスケール)

2月3日（金）9:30-12:00

順番	発表時間	学生証番号	氏名	タイトル
1	9:30-10:00	156126	寺尾 恭範	近赤外線2色同時多天体分光撮像装置SWIMSの検出器システム開発
2	10:00-10:30	156127	野田 和弘	Ia型超新星を生き延びた伴星の理論モデル
3	10:30-11:00	156128	藤井 善範	Development of a low frequency vibration isolation system for KAGRA, and study of the localization of coalescing binaries with a hierarchical network of gravitational wave detectors (KAGRAにおける低周波防振装置の開発、及び重力波検出器による階層的な検出ネットワークを用いた連星合体の方向特定に関する研究)
4	11:00-11:30	156129	藤田 彩豊	銀河系回転や太陽運動の解析に及ぼす軌道共鳴の影響
5	11:30-12:00	156130	藤本 空	電子陽電子対生成型超新星のニュートリノスペクトル

2月3日（金）13:00-14:40

順番	発表時間	学生証番号	氏名	タイトル
6	13:00-13:30	156132	毛利 清	次世代中間赤外線装置における低温チョッピング実現に向けた超伝導リニアモーターの開発
7	13:30-14:00	156133	山崎 翔太郎	Probing the Origin of Fast Radio Bursts by Fermi Gamma-ray Survey and Simulations of Binary Neutron Star Mergers (フェルミガンマ線サーベイと連星中性子星合体シミュレーションで探る高速電波バーストの起源)
8	14:00-14:20	3001	森 智宏	変更観測による前主系列星の星周円盤の研究
9	14:20-14:40	3002	柿内 健佑	銀河系中心領域における時期活動：磁気流体力学数値計算で探る鉛直構造と流れ場

※発表時間（内部進学生：発表25分、質疑応答5分 外部入学希望者：発表15分、質疑応答5分）